

首都圏の高速道路料金体系について（提言）

く 高速道路整備と共に進める料金政策 く

我が国の中枢である首都圏において、人・モノ・情報の交流を支える高速道路は、国際競争力の強化や地域の活性化に資する最も重要な社会基盤である。東京外郭環状道路をはじめ、首都圏の高速道路網の早期完成を図ることが、先ずは重要である。

こうした高速道路網の着実な整備を求める一方で、既に、首都圏では入りくんだ料金体系や割高感が顕在化しており、現在の料金体系のままでは、ネットワークが十全に機能せず、非効率な利用形態となることが明白である。

このため、移動の効率性が極めて高く、環境にもやさしい首都圏の実現に向け、東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道で囲まれる高速道路網について、これを最大限に活用する料金政策を導入することが必要不可欠であり、次の取組を提言する。

記

一、首都圏の交通渋滞緩和を図るため、三つの環状道路がバランス良く利用されるよう、外側の環状道路料金をより低廉な水準とするなど、首都圏の高速道路を一体的に捉えた利用しやすい料金体系を構築すること。

一、物流の効率化やカーボンマイナスなどを実現するため、高速道路利用を促進するよう、長距離利用車や大型車の負担を軽減する料金体系とすること。

一、運営主体や料金圏が異なることで生じる割高感を解消するため、乗り継ぎ割引を実施すること。また、将来的には首都圏で一元的な料金システムを構築すること。

一、右の料金施策の実現にあたっては、道路特定財源を活用し、国策として実施すること。

以上

平成十九年七月二十四日

国土交通大臣

冬 柴 鐵 三 様

埼 玉 県 知 事

上 田 清 司

千 葉 県 知 事

堂 本 暁 子

東 京 都 知 事

石 原 慎 太 郎

神 奈 川 県 知 事

松 沢 成 文